

松江北道路 第1回意見交換会を開催しました

平成25年1月9日～17日に、川津・古江・持田・法吉・生馬・城北の6会場にて、松江北道路に関する意見交換会を開催し、176名の方にご出席いただきました。本会では、松江市内の道路ネットワークの現状と課題、課題解決のための方向性、松江北道路の概ねの検討範囲等についてご説明し、参加者の皆様と意見交換を行いました。本瓦版では、意見交換会での説明内容やいただいたご意見など、その結果についてご報告します。

《松江北道路の必要性について》

「松江市内の道路ネットワークの現状と課題」「課題解決のための松江北道路の必要性」について説明しました（説明概要は中面に記載）。松江北道路が必要であるとの意見をいただくなど、多くの方にご理解をいただきました。

- ・この道路がまず発展の一步と思う。
- ・ルートを決めてほしい。
- ・スケジュールをもっと早くしてほしい。

《松江北道路の整備について》

整備方法については、下記のように様々なご意見をいただきました。

- ・佐陀川から西は穀倉地帯であり、白鳥の飛来地でもある。もっと北側を通るような案にしてほしい。
- ・田園地帯の景観を壊さないようにしてほしい。
- ・交差点の集約はあまりしないでほしい。
- ・農業用車両の横断を十分配慮してほしい。
- ・ところどころに非常駐車帯を設けてほしい。

平成 25 年 1 月 9 日 川津公民館



▲ 川津会場 (参加人数 12 名)

平成 25 年 1 月 10 日 古江公民館



▲ 古江会場 (参加人数 73 名)

平成 25 年 1 月 11 日 持田公民館



▲ 持田会場 (参加人数 25 名)

平成 25 年 1 月 15 日 法吉公民館



▲ 法吉会場 (参加人数 16 名)

平成 25 年 1 月 16 日 生馬公民館



▲ 生馬会場 (参加人数 46 名)

平成 25 年 1 月 17 日 城北公民館



▲ 城北会場 (参加人数 4 名)

各地区でいただいたご意見を参考に、概略ルート案を検討させていただきます。

本瓦版で掲載できなかった意見・質問、また説明内容の詳細に関しては、松江北道路 HP でご覧ください。

松江北道路

検索

《松江市内道路ネットワークの現状と課題》

松江市内の道路では、交通渋滞や交通事故、災害への備えといった課題が発生しています。

交通渋滞

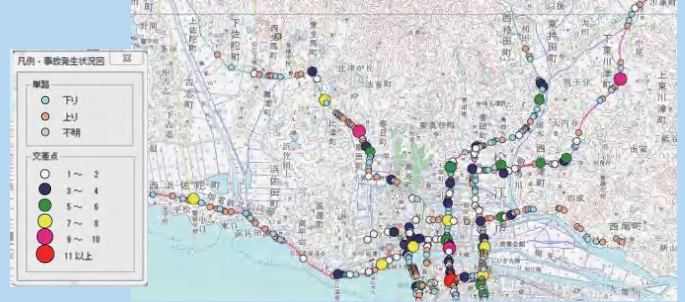
松江市内では、特に朝・夕の通勤時間帯において、市街地内移動、周辺部から市街地への移動および市街地に流入する通過交通が錯綜し、交通渋滞が慢性的に発生しています。市内中心部の交通量を減らすことが必要です。



交通事故

交通量の多い中心部に行くほど、交通事故が多くなっています。

▼主要道路の交通事故発生状況 (H17年～H21年)



※ポイントが事故発生箇所

災害・緊急時への備え

- ・松江市は宍道断層による地震の被害が想定されています。
 - ・平成18年7月の豪雨では、地盤の低い大橋川周辺を中心に、市街地が2日間にわたり浸水し、新大橋やくにびき大橋で通行止めとなりました。
- 災害時などに備え、緊急車両の通行や支援物資の輸送、避難を安全に行うため、幹線道路の複数ルートが構築が必要です。

▼平成18年7月豪雨時の規制状況



▼平成18年7月豪雨時の浸水被害

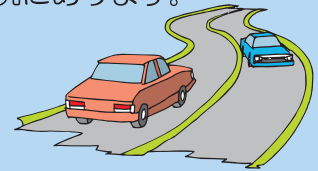


出典：松江市都市計画マスタープラン



山陰道への接続

市内西部や北西部から山陰道へ乗るためには、市街地内を通過する必要があります。このため、山陰道に乗るまでに時間を要し高速道路を利用する際の利便性が低い状況にあります。



宍道湖・中海圏域の連携 (観光振興)

宍道湖・中海都市圏の観光では出雲大社と境港への入込客数が多くなっています。このうち境港から島根県内観光地への周遊では、松江市街地の経由が多く、所要時間の短縮が求められています。



▲主要観光地の観光入込客数 出典：平成23年島根県観光動態調査結果 / 鳥取県観光客入込動態調査結果

《松江市内道路ネットワーク課題解決のために...》

外環状道路による課題解決

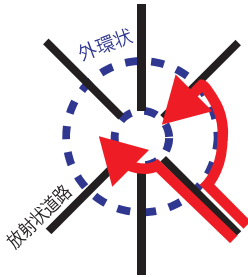
松江市内の道路の課題に対応するためには、①交通分散機能、②バイパス機能、③非常時の迂回機能をもった「外環状道路」を整備することが効果的です。



環状道路のはたらき

①交通分散機能

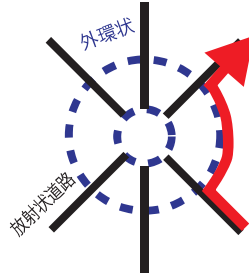
中心部へ向かう交通を分散します



郊外と中心部を結ぶ経路選択の幅が広がり、渋滞する交通を分散させることができます。

②バイパス機能

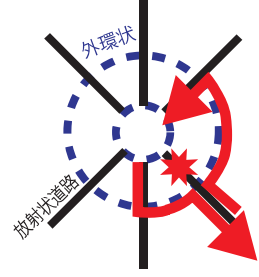
通過交通を排除します



中心部に目的地をもたない通過交通が市街地を通らなくても済むことで、渋滞が緩和します。

③非常時の迂回機能

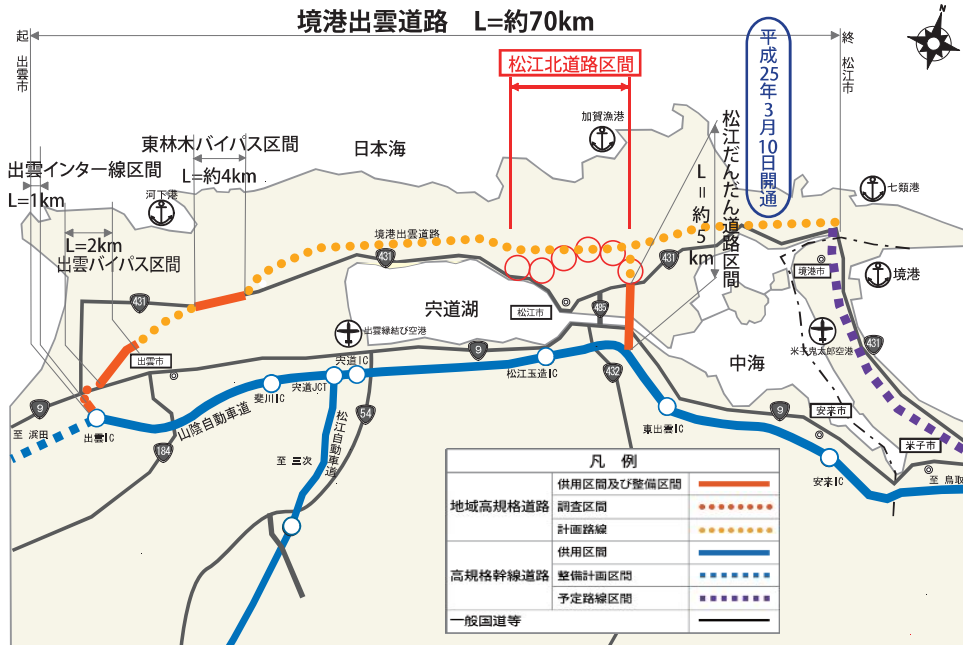
災害事故時の迂回路となります



災害、事故、工事等により一部不通区間が生じた場合に、速やかな迂回が可能となります。

《松江市内の外環状道路と境港出雲道路の一部をになう松江北道路》

境港出雲道路 L=約70km



境港出雲道路は、山陰道出雲IC～境水道大橋の延長約70kmの道路です。山陰の中核的な都市圏である宍道湖・中海経済圏の連携を強化するために、山陰道とともに宍道湖・中海都市圏の高規格な8の字ルートを形成します。

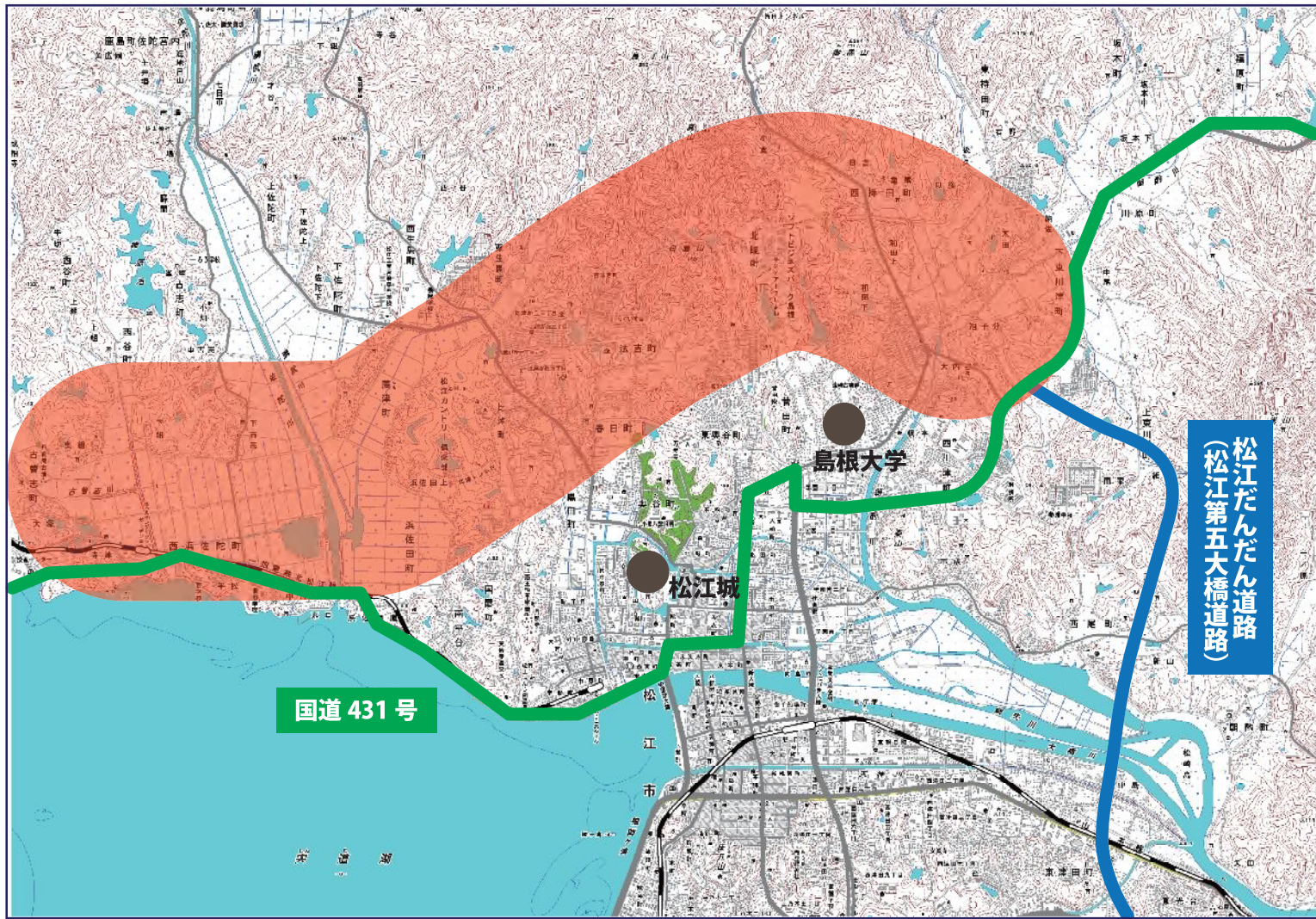
※地域高規格道路とは、高速道路などと連携して広範囲な地域を結ぶ道路であり、高速道路と一般道路との中間的な役割を果たす道路です。

《松江北道路とは》

松江北道路は、境港出雲道路の一部として、また松江だんだん道路とともに松江市の外環状線の一部として、山陰道へのアクセス性向上に伴う物流の効率化、市内へ流入する交通の分散化に伴う渋滞の緩和等により、地域の発展に貢献することを目的に計画を検討します。

意見交換会で提示した松江北道路の検討範囲と検討条件

<検討範囲>



<道路構造規格>

- ①道路規格：第3種第2級 第3種：高速道路や自動車専用道路以外の地方部の道路
第2級：平地部の国道で計画交通量が4,000（台/日）以上20,000（台/日）未満の道路
※第3種の場合
- ②設計速度：60 km/h
- ③車線数：2車線

<設計上考慮すべきポイント>

- 地形地質
急傾斜地や地すべり地帯 等
- 社会環境
病院、学校、養護施設、住宅密集地 等
- 文化財等
神社、仏閣、名勝、史跡 等

<交差点の集約>

交差点を集約し、本線の走行性を確保します

<基本的な横断構成>



意見交換会で寄せられた主な意見・質問とその回答

■ 計画の必要性・道路の位置づけ

Q: 松江市の都市計画との関係はどのようになっていますか？

松江市は、市内中心部と鹿島町、島根町など旧町村の地域拠点を連携する拠点連携型のまちづくりを目指しています。また、広域的な連携を取ることで、魅力ある観光振興など多様な産業振興も目指しています。

松江北道路は、広域的な交流を促進する広域幹線道路（境港出雲道路）と市内中心部の交通量を緩和する外環状道路の位置づけがあります。松江北道路の整備により産業振興が図れるうえ、市内中心部を通過する車を排除することにより安心して徒歩や自転車で生活できるまちづくりが行えます。

Q: 少子高齢化や人口減少などが進む中で、交通量も減少すると予想されますが、松江北道路は本当に必要なのですか？

松江北道路の検討については、将来の人口減少などを見込んで将来交通量の予測を行っています。松江市においては車による移動が多く、交通量については極端に減らないと予測しています。今回あげたような課題を解決するためには必要な道路と考えています。

Q: 松江島根線との関係はどう位置づけられるのですか？

この度開通した松江島根線の西川津工区は一般の生活道路として、市街地の交通利便性を高めるための道路という役割を担っています。一方、松江北道路は一般的な生活道路ではなく、通過交通の排除や、境港出雲道路の一部として長距離交通を担うような道路としての位置づけでの整備を考えています。

■ 交通量・渋滞について

Q: 慢性的渋滞の原因が特定されていないと思います。道路整備で解消されるのですか？

市内の渋滞の原因は、昔ながらの道と新しい道が混在しており、変則交差点に加え、道路の交通容量に対して交通量が多いといったことが考えられます。松江北道路の整備により、中心部への通過交通が排除されて、渋滞が緩和されると考えられます。

Q: 松江北道路の交通量はどのくらいになると推計されていますか？

接続の位置によっても変わってきますが、一日に 10,000 台程度と予測しています。

■ 整備効果

Q: 住民生活にとって、松江北道路ができることにより何がどう具体的に改善されますか？

市内西部や北西部にお住まいの方には、松江だんだん道路までスムーズに行けるようになり、山陰道を利用する際の利便性が高まります。また、通過交通が中心部に入らなくて済むことで渋滞が緩和され、市街地の通行がスムーズにできるようになります。

■ ルート・接続・土地利用など

Q: 今回提示されたルートの検討範囲の根拠は何ですか？

外環状道路としての機能を考慮し、松江市中心市街地を避け、松江だんだん道路（川津）から、西浜佐陀町内の国道 431 号を結ぶルートを想定したものです。

Q: 佐陀川から西は穀倉地帯であり、白鳥の飛来地でもある。もっと北側を通るような案を考えてほしい。

概略ルート案検討の中で検討します。

Q: 川津交差点では、松江だんだん道路と直結するのですか？

松江だんだん道路とまっすぐ繋いだ方が効果が高いと考えています。

Q: 沿道の開発により、農業への影響ができませんか？狭い農道沿いに住宅が無造作に建てられることは避けたいです。

松江北道路は沿道からの出入り制限のある、沿道の開発を促さないような構造で検討します。概略計画が決定した後に都市計画決定の手続きを踏むこととなりますが、その中で土地利用との整合性なども検討していきます。

■ スケジュールについて

Q: 事業化までは何年くらいかかりますか？完成予定はいつごろですか？

概略ルートを決定し都市計画決定の手続きを行った後に事業化となります。事業化予定や完成予定は現段階では決まっていませんが、事業化後概ね 10 年は要すると考えられます。

第2回意見交換会のご案内

第2回の内容は、ルート案の説明やその考え方についてです。

第2回意見交換会をご覧の日程・会場にて開催します。どなたでも参加いただけます。各会場同一の内容で行いますので、参加しやすい会場へふるってご参加ください。



法吉会場

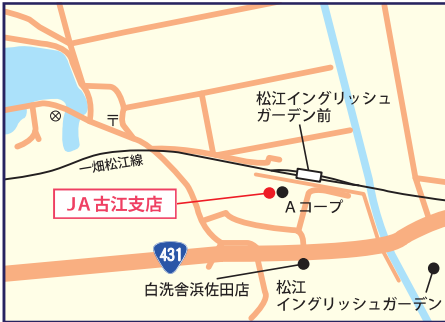
日時：平成25年3月18日（月）
18:30～20:30
場所：松江市法吉公民館



収容人数：約150名
駐車場台数：約50台

古江会場 ※前回と会場が異なります

日時：平成25年3月19日（火）
18:30～20:30
場所：JA古江支店



収容人数：約80名
駐車場台数：約80台

城北会場

日時：平成25年3月21日（木）
18:30～20:30
場所：松江市城北公民館



収容人数：約100名
駐車場台数：約10台

生馬会場

日時：平成25年3月22日（金）
18:30～20:30
場所：松江市生馬公民館



収容人数：約90名
駐車場台数：約30台

持田会場

日時：平成25年3月26日（火）
18:30～20:30
場所：松江市持田公民館



収容人数：約50名
駐車場台数：約15台

川津会場

日時：平成25年3月27日（水）
18:30～20:30
場所：松江市川津公民館



収容人数：約100名
駐車場台数：約30台

《お問合せ先》 松江北道路計画検討事務局

島根県 土木部高速道路推進課 道路企画調査グループ

TEL:0852-22-6259 FAX:0852-22-5190 E-mail: highway@pref.shimane.lg.jp
<http://www.pref.shimane.lg.jp/kosokudoro/>

ご意見は
こちらまで !!

松江北道路

検索

松江市 建設部国県事業推進課 国県事業推進係

TEL:0852-55-5385 FAX:0852-55-5558 E-mail: kuniken@city.matsue.lg.jp
<http://www1.city.matsue.shimane.jp/matidukuri/index.html>